

令和6年度 東名古屋医師会「みんなで学ぼう！患者の意思決定支援」アンケート集計結果

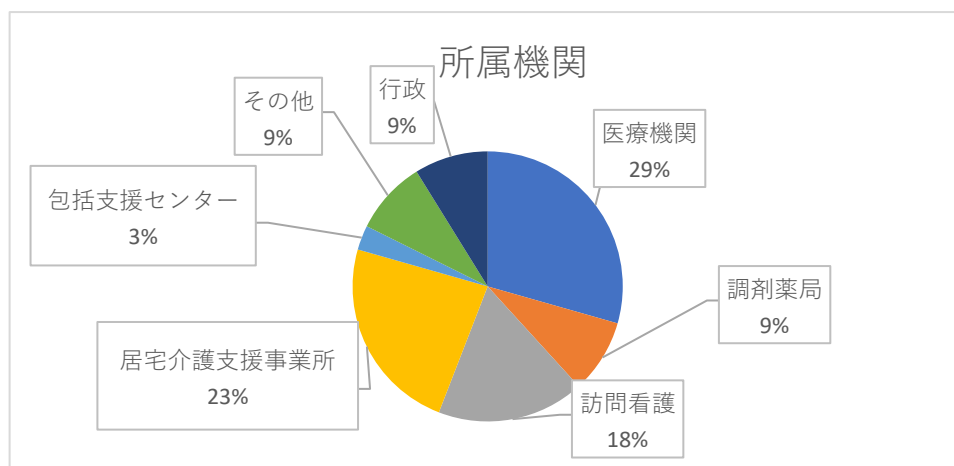
日時 令和7年1月26日（日）10：00～16:00

場所 イーストプラザいこまい館 1階多目的室A

参加者数 34名 （アンケート回収29名）

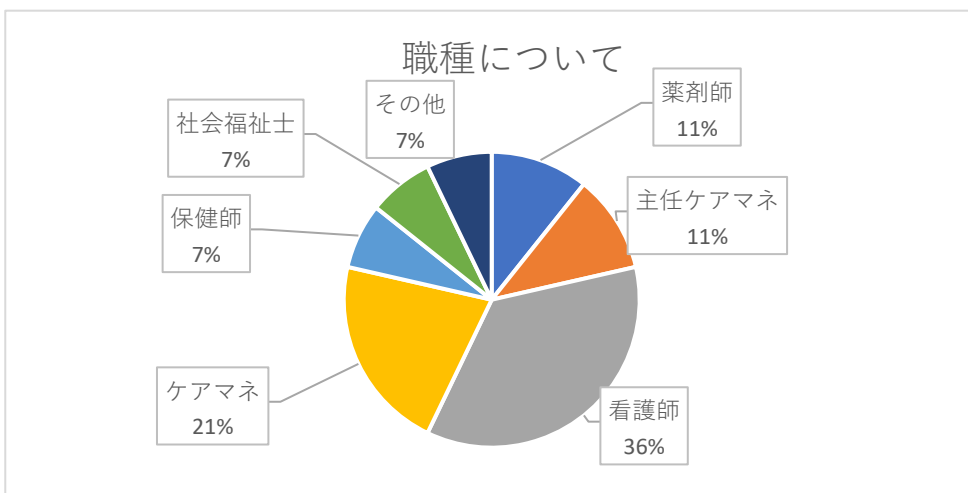
1. 所属されている機関について

医療機関	10
調剤薬局	3
訪問看護	6
居宅介護支援事業所	8
包括支援センター	1
その他	3
行政	3



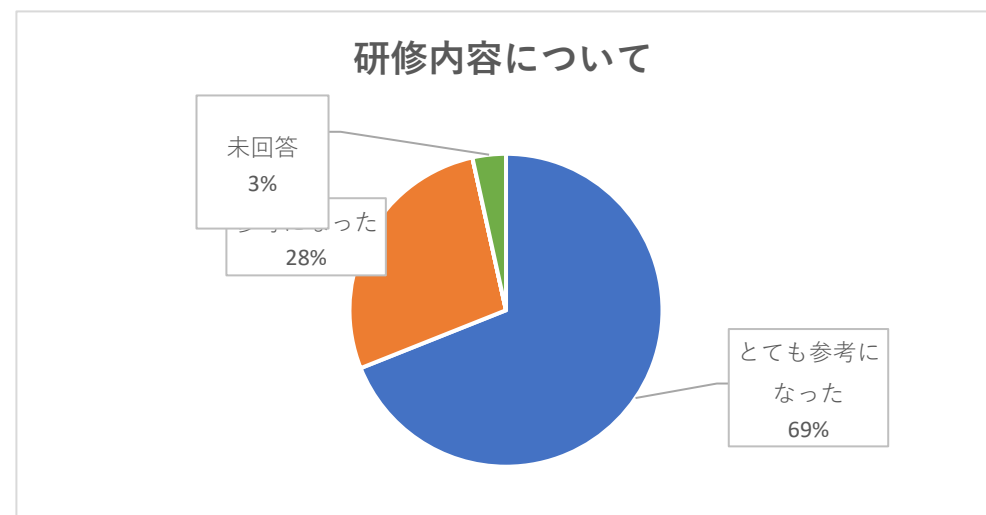
2. 職種について

医師	6
薬剤師	3
主任ケアマネ	3
看護師	10
ケアマネ	6
保健師	2
社会福祉士	2
その他	2



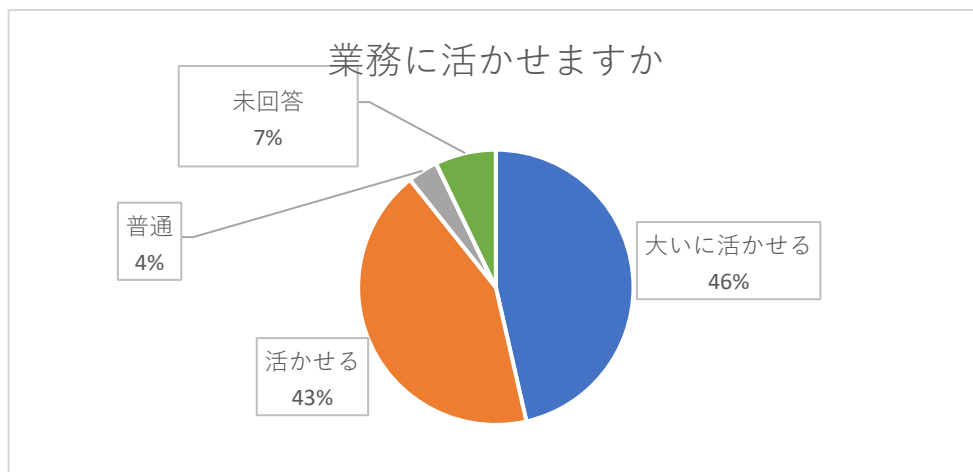
3. 研修内容について

とても参考になった	20
参考になった	8
普通	0
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
未回答	1



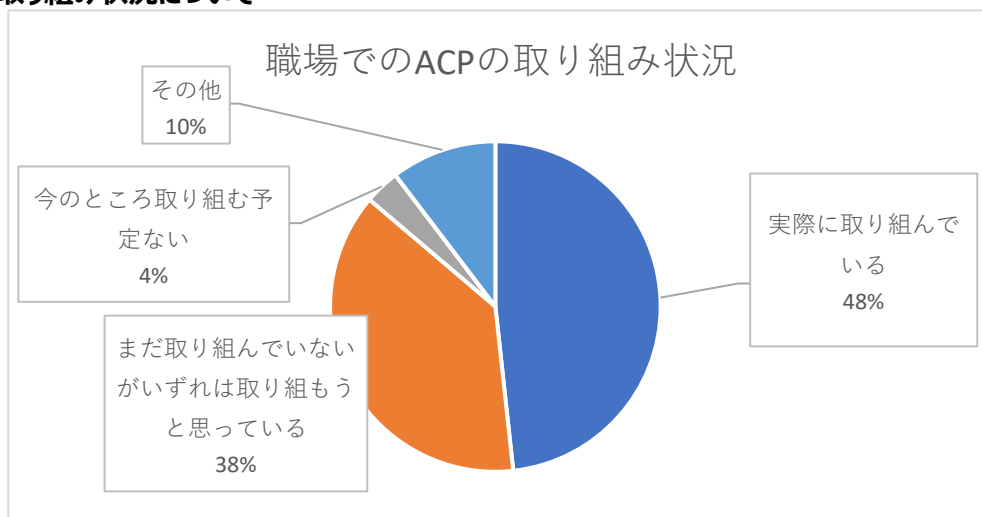
4. 本日の研修は業務に活かそうですか？

大いに活かせる	13
活かせる	12
普通	1
活かさない	0
活かすことは難しい	0
未回答	2



5. 所属している職場でのACPの取り組み状況について

実際に取り組んでいる	14
まだ取り組んでいないがいずれは取り組みもうと思っている	11
今のところ取り組み予定ない	1
取り組み方がわからない	0
その他	3



その他を選択した理由

- ・話し合いという場でなく、常に話をしている感じ。
- ・相談業務に積極的に取り入れなければと考えている。
- ・周知等に取り組んでいる。

6. 今回の研修内容に関するご意見・ご感想について

- ・劇もあり具体的にイメージしやすかった。皆さんお疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・病院の方や先生からお話が聞けて勉強になりました。本人の意思を尊重する支援ということに、もっと焦点をあてて、普段から関わっていききたい。そのためにチーム間での情報共有やKP（遠くの家族）も含めてしていければと思った。
- ・実際の事例もたくさん出て、たくさん勉強になりました。
- ・本人の意思の確認、十分な話し合い、内容を都度まとめておくことの重要性。
- ・認知症があるというだけで話し合いの場面に本人がいない。
- ・事前の意思確認と話し合うタイミングが重要となってくる。例えば有名人が亡くなったニュースなどのタイミングをその機会にするなどとして話し合う。
- ・ACPという言葉は知っていても、理解は浅くなかなか手が出しにくいと思っていたが、この研修で理解が深まったので参加して良かったです。本人の意向を本人自身が家族や関わる人と話せる事は大切なことだと思った。
- ・改めてACPについて深く考えることができて良かった。
- ・色々な職種、立場の意見が聞けてとても参考になった。ACPについてもっと専門的に学びたいと思った。深めたいです。
- ・事例と具体的（わかりやすい）な講義で大変有意義でした。色々意見交換ができました。（立場の違いがあり面白かったです）。

- ・レクチャー、事例検討とも参考になることが多く感謝します。
- ・前向きに考えられる事例も教えてほしいです。ACPを身近に考えられるように三世代参加のできる研修をお願いします。
- ・グループワークの時間設定などとても良かったです。
- ・お疲れさまでした。とても参考になりました。ありがとうございます。
- ・とても6時間が早く過ぎました。弁当が旨かった。
- ・グループワークの話し合いもしやすく良かったです。話し合う内容を各自の話も聞けて良かったです。
- ・最後にまとめのあとにグループワーク内で「絶対にしてほしいことを確認しておくこと」という話で盛り上がりました。
- ・地域の多職種の方と経験等も含めて話ができて、貴重な時間となりました。
- ・様々な視点からの考え方を共有できたので、今後も継続して参加できればと思います。ありがとうございました。
- ・多職種の方々にお話をたくさん聞けて大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ACPということは知っていたが、深く考えて話し合うことは、はじめてだったので、考えを深めることができてよかった。仕事でも活かせるし、家族などにも伝えていこうにしたいと思った。
- ・意思決定を支えると言いながら、家族本位になっていることも多く、今一度患者の意思決定をささえる！事を第一に考えていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・意思決定の支援が本人のためになっているのか、まわりのためになっていないか、本人の思いを理解し伝える力が求められていると思いました。資料もとても参考になりました。ACPの理解を深めていこうと思います。参加させていただきありがとうございました。
- ・とても難しかった。考えれば考えるほど、何度も繰り返し話し合う必要があると思うが、時間がない現状であると思い、どうしたらよいか分からなかった。あまり構えすぎない方がよいということであるが、知識がある人々はそれでいいかもしれないが、そうでない人に伝える介入するときには、工夫が必要なのではと思った。考えれば考えるほどわからずモヤモヤしている。
- ・ありがとうございました。改めてとても難しいテーマだと思いました。特に心肺蘇生をして（訪問看護が救急車を讀んで）訴訟された件は驚きでした。DNARの正しい定義、勉強になりました。
- ・内容はとても難しく、理解はまだまだであるが、様々な職種の方に実際の話や聞き、現状での話が聞けて少し状況が想像できるようになったのは良かった。
- ・司会進行の伊藤先生の進め方、下山先生の講義、とてもすばらしく一日研修も苦にならず、あっという間の内容時間でした。握手の時の肌感覚、大変わかりやすい表現で腹おちしました。
- ・診療報酬でACPの支援に取り組むことが求められているが手段が目的になってしまわないようにしたい。学べば学ぶほど難しく感じるがシンプルに考える事も必要かもと思った。
- ・医療者として全体と知って（病状など）本人の意思は？？と考えること、前のめりにならないように、外側からもサポートして、連携、みんなが知ってはいられるようにしたい。
- ・毎回参加していますが、グループメンバーが違ったり、講義の切り口が違ふことで、思考がふくらみ、明日から役立てそうです。

7. 今後の研修会で取り上げて欲しい内容について

- ・事前指示、ACPから事前指示へのコネクト
- ・認知症、意思疎通ができない人の意思決定確認など
- ・実例を挙げて検討してほしい。ACP対応したそれぞれの年齢層によって対応もさまざまだと思うので、それぞれのケースを知りたい。
- ・継続して頂けると有難いです。いつも有難うございます。
- ・看取りや意思決定等（いろいろな意思決定があると思うので）
- ・ACPの研修を続けてほしいです。毎回モヤモヤします。
- ・いつも大変ご苦労様です！！
- ・独居家庭。がん末期だけでなく心不全末期など様々な看取り、緩和ケアのあり方、もしばなゲーム、ACP繰り返し行う。
- ・ACPについて（繰り返し学び理解したいため）

【研修会の様子】



ご参加いただき、
ありがとうございました！